

【報道関係各位】

料理と夫婦関係に関する調査

- ‘毎日、夕食を料理する’ 既婚女性は76%
- 「料理は苦手」が4割超。「努力はしている」6割。
- 作った料理に対する夫の一言にカチンときた経験、5割。禁句は「おかずこれだけ？」
- ‘週1以上、夫が夕食を作る’ 23%。夫婦円満な家庭は「夫が料理上手」

2010年4月20日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、全国20才以上の既婚女性を対象に、「料理と夫婦関係に関する調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2010年4月2日（金）～4月4日（日）。有効回答数は516名から得られました。

【調査結果概要】

【1】‘毎日、夕食を料理する’ 既婚女性は76%

全国の既婚女性に、夕食を料理する頻度を尋ねたところ、「ほぼ毎日」と回答した人は76%、「週に5～6日」と回答した人は16%となり、「週に5日以上」と回答した人は92%となりました。労働形態別では、専業主婦は「ほぼ毎日」が80%と共働きの69%に比べ10ポイント高くなっています。また、子供のいる人では「ほぼ毎日」が81%と子供のいない人に比べ16ポイント高くなっています。

夕食を作らない日はどうしているか尋ねると、「外食をしている（74%）」という回答が最も多く、次いで「弁当・惣菜を購入（62%）」、「夫が作る」という回答も35%ありました。

【2】「料理は苦手」が4割超。「努力はしている」6割。

料理の得意、不得意について尋ねると、「得意な人」が56%（得意（8%）+どちらかといえば得意（48%））に対し、「苦手な人」は44%（苦手（8%）+どちらかといえば苦手（36%））となりました。

料理のレパートリーを増やすなど努力をしているか尋ねたところ、努力している（とても努力している+やや努力している計）が63%となっています。また、「料理を習いたい」と思っている人は3割いました。

よく作るメニューでは、1位「炒めもの（76%）」、2位「煮物（71%）」、3位「カレー（71%）」となっています。4位は「肉じゃが（62%）」、5位「豚のしょうが焼き（59%）」と定番メニューが続き、調理時間が短いものや簡単なものをよく作っているようです。

【3】作った料理に対する夫の一言にカチンときた、5割。禁句は「おかずこれだけ？」

自分が作った料理に対して夫の一言にカチンときたことがある人は5割でした。カチンときた言葉や態度の1位は「おかずこれだけ？（33%）」、2位「（食べたあと）無言（29%）」、3位「もうちょっと塩いれた方がいい（19%）」となっています。ふとした一言でケンカにもなりかねない毎日の食卓。夫から妻への配慮は重要と言えそうです。

【4】‘週に1日以上、夫が夕食を作る’ 23%。夫婦円満な家庭は「夫が料理上手」

夫が料理や食事の支度・片づけを手伝ってくれるか尋ねたところ、夫が週に1日以上「料理をする」が23%、「食事の支度や片づけをする」は39%となりました。妻の年代別にみると、20代・30代では40代以上に比べて「夫が料理をする」「夫が食事の支度や片づけをする」する割合が高くなっており、若い夫婦ほど夫が料理をしている様子がわかります。

夫と料理の関係性をみたところ、「夫は料理が得意」と思っている妻では「夫婦円満だと思う」という回答が94%に達し、夫が料理上手な夫婦ほど円満である割合が高い結果となりました。

「料理と夫婦関係に関する調査」

【調査結果詳細】

■調査概要

調査方法：	インターネットリサーチ				
調査地域：	全国				
調査対象：	20才以上の既婚女性（マクロミルモニタ会員）				
有効回答数：	合計	20代	30代	40代	50代以上
	516s	129s	129s	129s	129s
調査日時：	2010年4月2日（金）～4月4日（日）				
調査機関：	株式会社マクロミル				

I. 既婚女性の料理実態

■ 夕食を料理する頻度、「ほぼ毎日」が76%

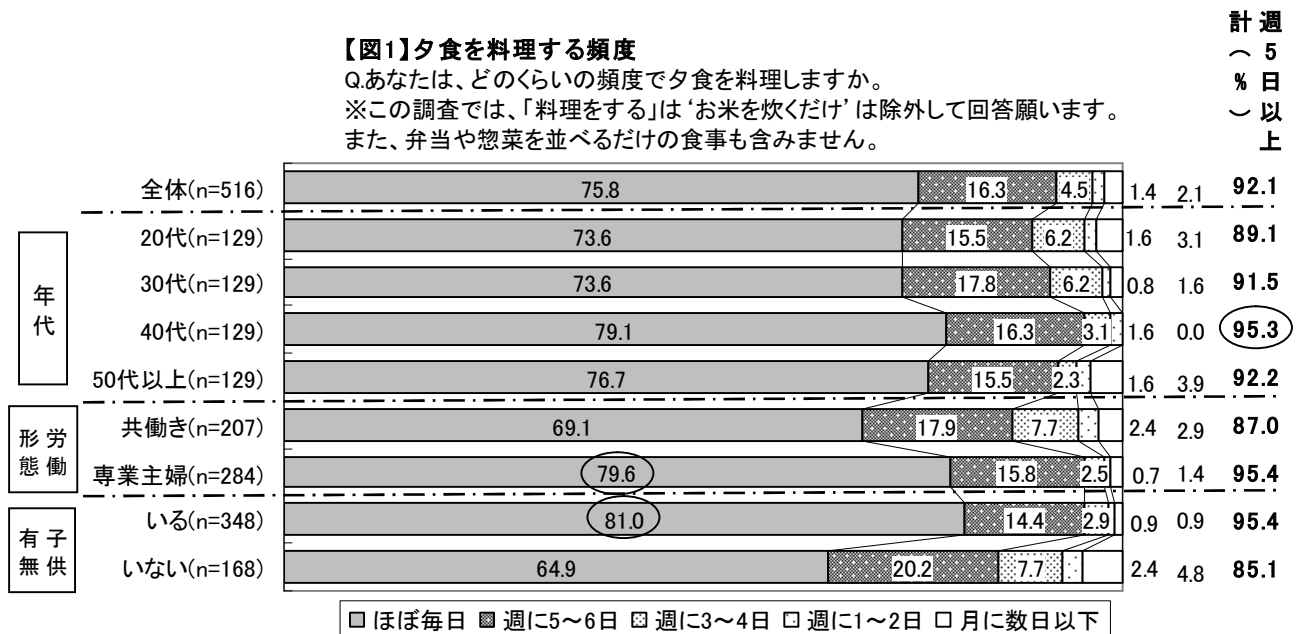
全国の既婚女性に、どのくらいの頻度で夕食を料理（※）するか尋ねたところ、「ほぼ毎日」が76%、「週に5～6日」が16%となり、「週に5日以上」と回答した人は92%となりました。

年代別にみると、40代は「週に5日以上」夕食を料理する人が95%と他年代に比べ若干高くなっています。

労働形態別にみると、専業主婦では「ほぼ毎日」が80%と共働きに比べ11ポイント高くなっています。

また、子供の有無別にみると、子供のいる人では「ほぼ毎日」が81%と子供のいない人に比べ16ポイント高くなっています。【図1】

※本調査での「料理する」は、お米を炊くだけ、弁当や惣菜を並べるだけの食事は含みません。



※労働形態で、「共働き」には妻のフルタイム、パートタイムのいずれも含まれます。

また、「専業主婦」では夫が働いていることが前提となっています。

「共働き」「専業主婦+夫が働く」以外の労働形態はn数が少ないため割愛いたしました。

■ 夕食を作らない時は、「外食(74%)」「弁当・惣菜を購入(62%)」「夫が作る(35%)」

夕食を料理しない時どのようにしているか尋ねたところ、「外食をしている」が74%で最も多く、次いで「弁当・惣菜を購入している」が62%、「夫が作る」が35%となっています。

年代別にみると、20~30代の意見では「夫が料理をしている」が40%以上と40代以上に比べて高くなっています。

労働形態別にみると、専業主婦では「弁当・惣菜を購入している」が71%と共働きに比べ16ポイント高い結果となっています。

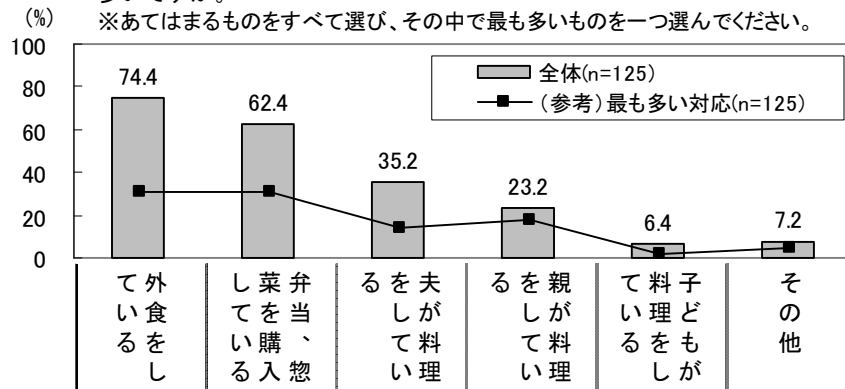
また、子供の有無別にみると、子供のいる人でも「弁当・惣菜を購入している」が68%と子供のいない人に比べ12ポイント高くなっていました。【図2】

【図2】妻が夕食を料理しない場合の対応(複数回答)

<ベース: 夕食を作らない日がある人>

Q あなたが、夕食を料理しないとき、そのときの夕食はどうしていることが多いですか。

※あてはまるものをすべて選び、その中で最も多いもの一つを選んでください。



全体(n=125)		74.4	62.4	35.2	23.2	6.4	7.2
年代別	20代(n=34)	73.5	41.2	41.2	38.2	0.0	5.9
	30代(n=34)	91.2	73.5	50.0	23.5	0.0	2.9
	40代(n=27)	74.1	74.1	22.2	11.1	14.8	7.4
	50代以上(n=30)	56.7	63.3	23.3	16.7	13.3	13.3
労働形態	共働き(n=64)	68.8	54.7	31.3	32.8	7.8	9.4
	専業主婦(n=58)	79.3	70.7	36.2	12.1	3.4	5.2
有子無供	いる(n=66)	75.8	68.2	31.8	27.3	12.1	3.0
	いない(n=59)	72.9	55.9	39.0	18.6	0.0	11.9
(参考)最も多い対応(n=125)		31.2	30.4	14.4	17.6	1.6	4.8

※n=30未満のものは参考値としてご覧下さい。

■ 夕食の品数は、‘理想’「3品以上」。‘現実’「2品」。

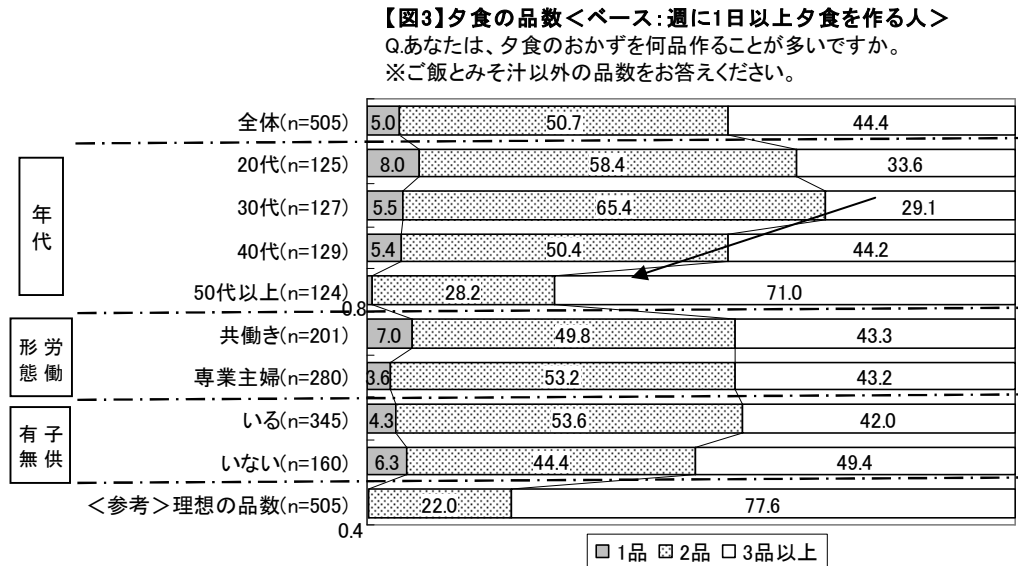
夕食のおかずを何品作ることが多いか尋ねたところ、「2品」が51%で最も多く、次いで「3品以上」が44%、「1品」が5%となっています。

年代別にみると、高齢層ほど品数が多くなっています。

労働形態別にみると、共働き、専業主婦の間には大きな差はないようです。

子供の有無別にみると、子供のいない人はいる人に比べ3品以上作っている割合がやや高くなっています。

理想の品数をみると、「3品以上」が78%、「2品」が22%となっており、現実と理想には大きく乖離があるようです。【図3】



■ よく作る夕食は、1位「炒めもの (76%)」2位「煮物 (71%)」3位「カレー (71%)」

よく作る夕食のメニューを尋ねたところ、「炒めもの」が76%で最も多く、次いで「煮物」、「カレー」が各々71%となりました。短時間で作れるものや煮込むだけのメニューの人気の高いようです。【図4】

【図4】夕食でよく作るメニュー(複数回答/上位10位)

<ベース:週に1日以上夕食を作る人>

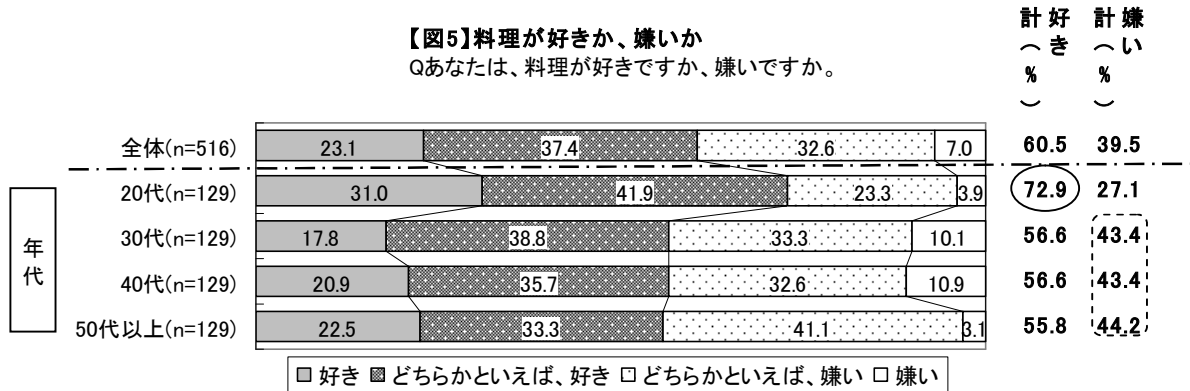
Q.あなたがよく作る夕飯のメニューは何ですか。

順位	よく作る夕飯メニュー	n=505	(%)
1	炒めもの	386	76.4
2	煮物	358	70.9
3	カレー	356	70.5
4	肉じゃが	313	62.0
5	豚の生姜焼き	299	59.2
6	ハンバーグ	290	57.4
7	お鍋	274	54.3
8	シチュー	271	53.7
9	鶏のから揚げ	230	45.5
10	餃子	224	44.4

■ 料理好き 6割、一方、料理嫌いは4割

料理が好きか、嫌いか尋ねたところ、「好き」は23%、「どちらかといえば好き」は37%で好きな人は合計で6割となりました。一方、「嫌い」は7%、「どちらかといえば嫌い」は33%で嫌いな人は合計で4割でした。

年代別にみると、20代で「好き」「どちらかといえば好き」と回答した人は73%と30代以上に比べ10ポイント以上高くなっています。【図5】

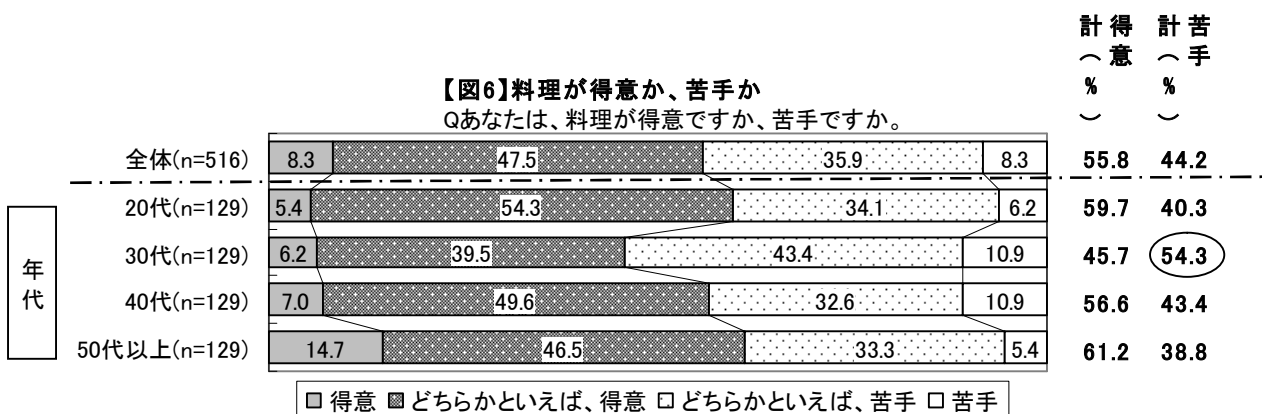


また、料理が嫌いな理由を尋ねると、「めんどくさい」「ずっとは飽きる」「メニューを考えるのが大変」といった声が挙がっています。

■ 料理が得意な人は56%、一方、苦手な人は44%

料理が得意か、苦手か尋ねたところ、「得意」は8%、「どちらかといえば得意」は48%で得意な人は合計で56%となりました。一方、「苦手」は8%、「どちらかといえば苦手」は36%で苦手な人は合計で44%でした。

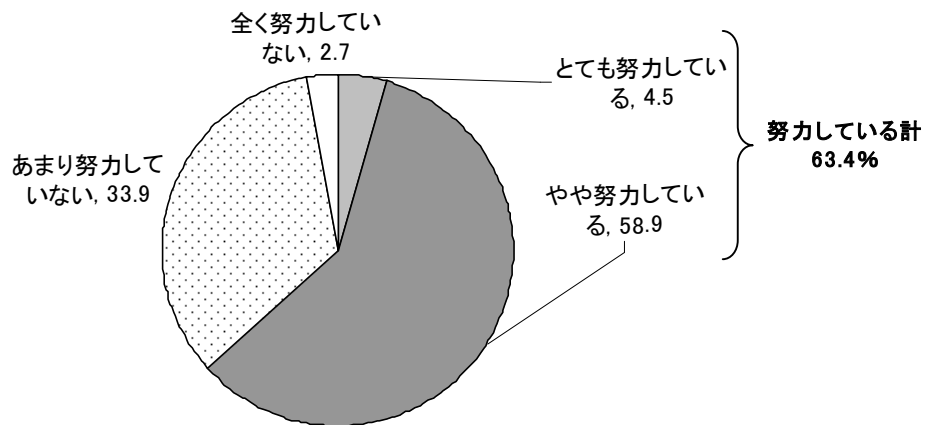
年代別にみると、30代で「苦手」「どちらかといえば苦手」と回答した人は54%と他年代に比べ10ポイント以上高くなっています。【図6】



■ 料理に対して‘努力している人’は63%、一方‘努力していない人’は37%

料理に対してレポートリーを増やす、料理を習うなど努力をしているか尋ねたところ、「とても努力している」は5%、「やや努力している」は59%で努力している人は合計で63%となりました。一方、「全く努力していない」は3%、「あまり努力していない」は34%で努力していない人は合計で37%でした。【図7】

【図7】料理に対して努力をしているか(n=516)
Qレポートリーを増やす、料理を習うなど何か努力していますか。



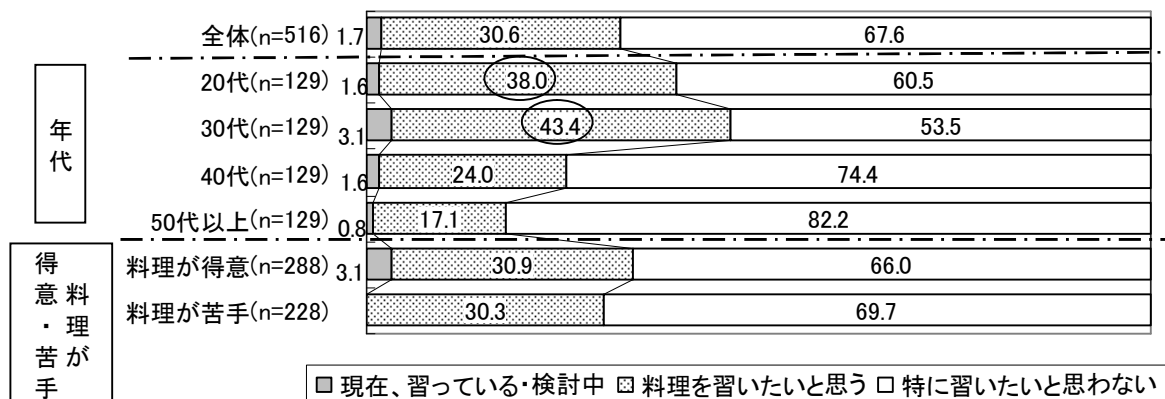
※四捨五入の関係で足して100%にならないことがあります

■ 料理教室で「料理を習いたいと思う」人は約3割

料理教室で料理を習いたいと尋ねたところ、「現在、習っている・検討中」が2%、「料理を習いたいと思う」が31%、「特に習いたいと思わない」が68%となりました。

年代別にみると、20~30代では「料理を習いたいと思う」が40%前後と40代以上に比べ高くなっています。なお、料理が得意か不得意かでみても習いたいと思う割合に差はありませんでした。【図8】

【図8】料理教室で料理を習いたいか
Qあなたは、お料理教室で料理を習いたいと思いますか。

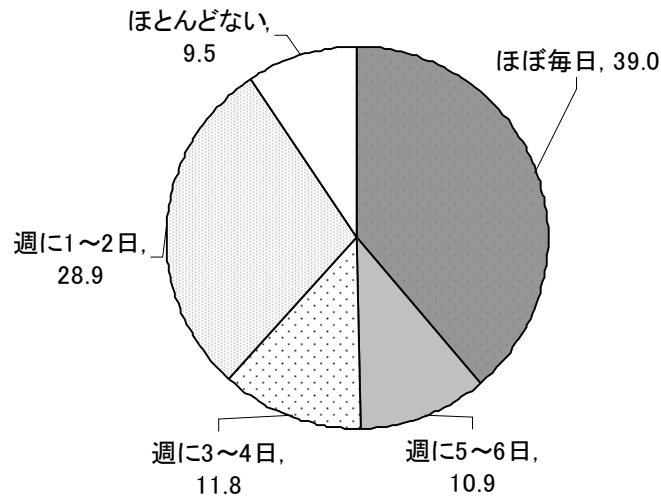


II. 料理と夫婦の関係について

■ 毎日、夫婦一緒に夕食を食べる人は約4割。

夫婦で夕食を一緒に食べる頻度を尋ねたところ、「ほぼ毎日（39%）」、「週に5～6回（11%）」と週に5日以上の人が約半数となっています。一方、「ほとんどない」と回答した人が10%となりました。【図9】

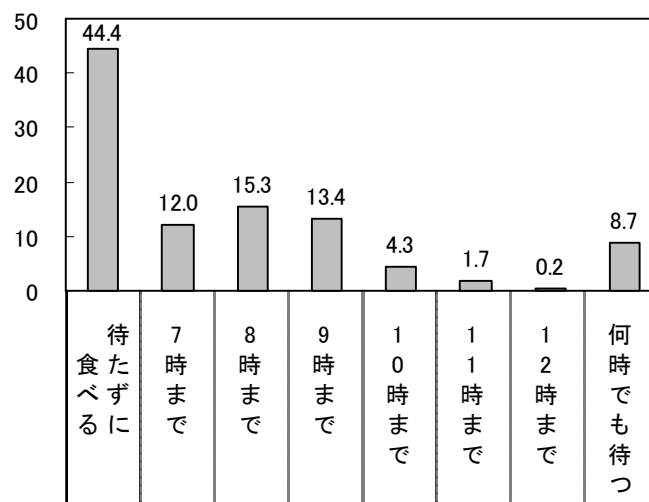
【図9】夫婦で夕食を食べる頻度 (n=516)
Qあなたの家庭では、夫婦で夕食をともにすることは、どのくらいの頻度でありますか。



■ 夫の帰りが遅い時、待たずに夕飯を食べる妻は、44%

夫の帰りが遅い時、夕食を何時まで待つか尋ねました。「待たずに食べる」と回答した人が44%となった一方、「何時でも待つ」と回答した人は9%と一割に満たない結果となりました。【図10】

【図10】夕食時に夫を何時まで待つか (n=516)
Q 夫の帰りが遅いとき、夕食は何時まで待ちますか。



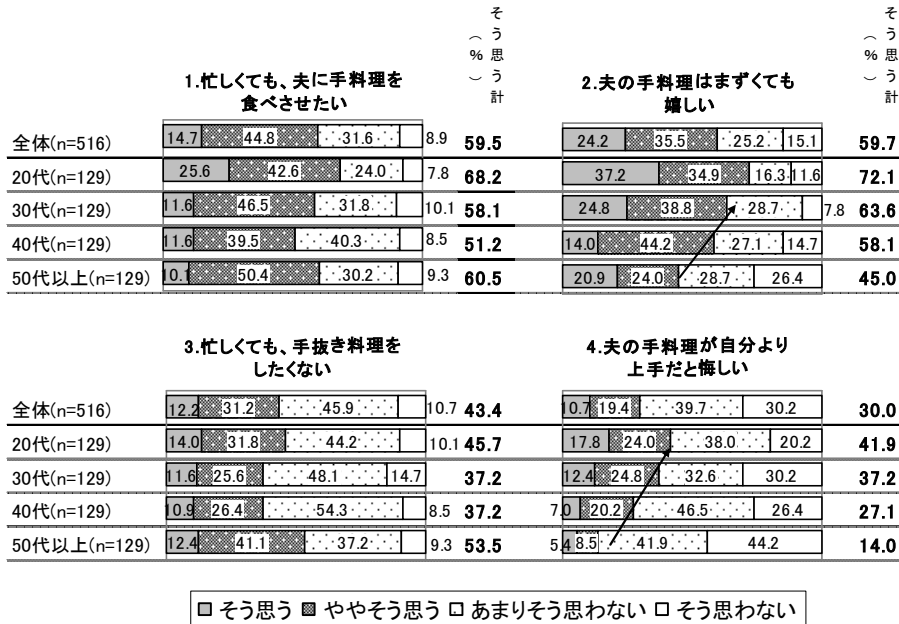
■ 「忙しくても夫に手料理を食べさせたい」 6割

夫と料理について尋ねました。「忙しくても夫に手料理を食べさせたいか」という問いに「そう思う」「ややそう思う」と回答した人は60%となっています。「忙しくても手抜き料理をしたくない」と考える人も44%となりました。

また、夫の料理に対しては、「夫の手料理はまずくても嬉しい」が60%となった一方、「夫の手料理が自分より上手だと悔しい」が30%となっています。若年層ほど「夫の手料理はまずくても嬉しい」「夫の手料理が自分より上手だと悔しい」と思う割合が高く、複雑な女心が窺える結果となりました。【図11】

【図11】料理と夫婦の関係について

Q料理と夫婦の関係について、あてはまるものをお答えください。



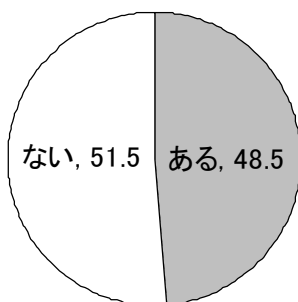
■ 作った料理に対して夫の一言にカチンときた、約5割。禁句は「おかずこれだけ？」

自分が作った料理に対して夫の一言にカチンと来たことがあるか尋ねたところ、約半数の人が「ある」と回答しました。カチンと来た経験がある人に、その一言を尋ねると「おかずこれだけ？」が33%で最多、次いで「(食べたあと)無言」が29%、「もうちょっと塩入れた方がいい」が19%となっています。食事は毎日のことだけに、ふとした一言でケンカにもなりかねないようです。【図12】【図12-2】

【図12】妻が作った料理に対する夫の言動について

<ベース:週に1日以上夕食を作る人(n=505)>

Q自分の作った料理に対して夫の一言に「カチン」と来たことはありますか。



【図12-2】自分の料理に対する夫の「カチン」ときた言葉

(複数回答/上位10位) <ベース:カチンときたことがある人>

Q.自分の作った料理に対して夫の一言に「カチン」ときた時の言葉を教えてください。

順位	「カチン」ときた言葉・態度	n=245	(%)
1	おかずこれだけ?	80	32.7
2	(食べたあと)無言	71	29.0
3	もうちょっと塩入れた方がいい	47	19.2
4	おいしくない	40	16.3
5	不味い	27	11.0
6	味見したの?	26	10.6
7	失敗したの?	18	7.3
7	俺が作った方がうまい	18	7.3
9	自分で作ったの?	15	6.1
10	おふくろの味じゃない	11	4.5

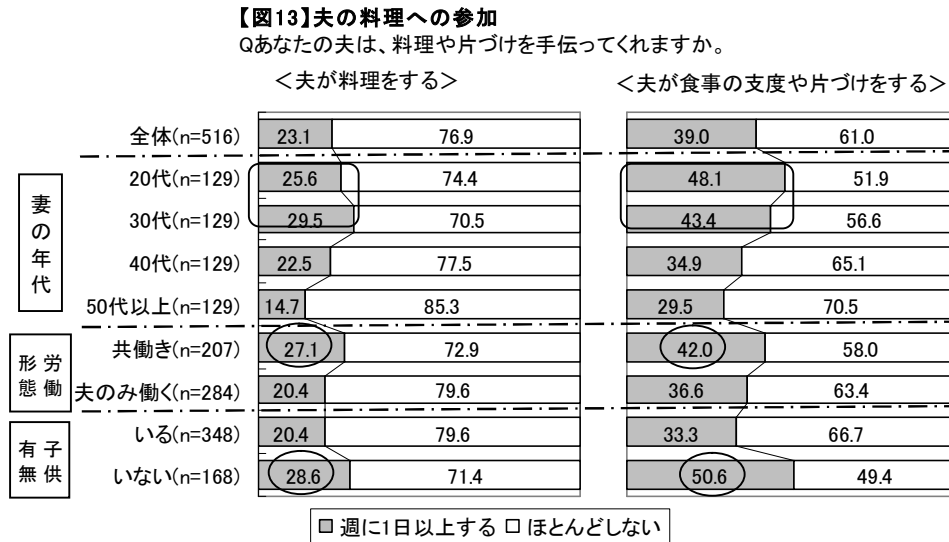
■ 週に1日以上「夫が料理をする」23%、「食事の支度や片づけをする」39%

既婚女性に夫が料理や食事の支度・片づけを手伝ってくれるか尋ねたところ、料理については23%、食事の支度や片づけは39%の夫が週に1日以上行っていると回答しました。

妻の年代別に見ると、30代以下では40代以上に比べて「夫が料理をする」「夫が食事の支度や片づけをする」割合が高くなっており、若い夫婦ほど夫が料理をしていることが予測されます。

労働形態別に見ると、共働きの夫は専業主婦の夫に比べ「夫が料理をする」「夫が食事の支度や片づけをする」割合が高くなっています。また、子供のいる人よりもいない人の方が料理・手伝いの参加率が高くなりました。

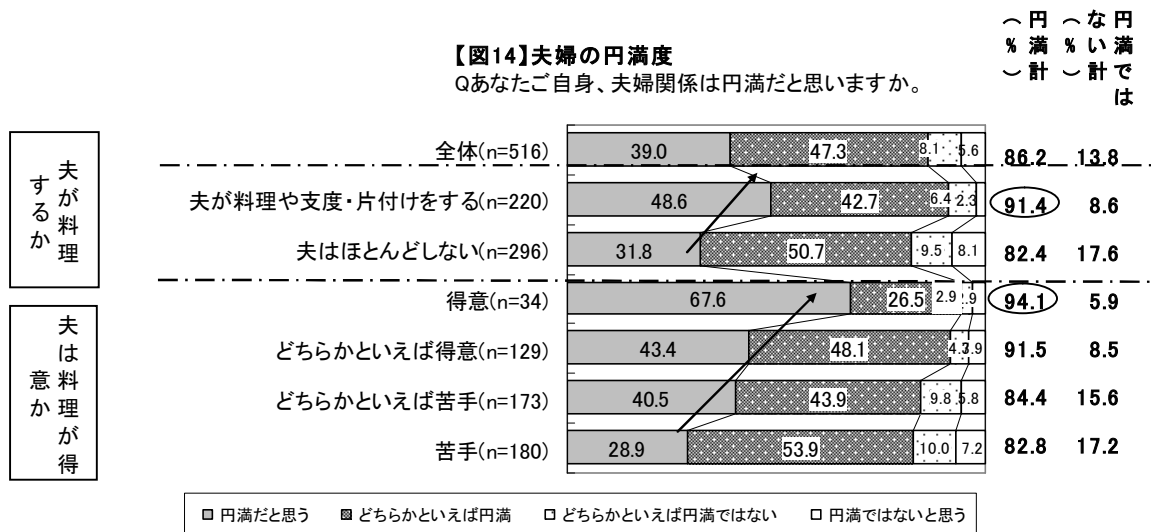
【図13】



■ 夫婦円満のカギは、「夫が料理上手」

既婚女性に夫婦が円満かどうか尋ねたところ、「円満だと思う」は39%、「どちらかといえば円満だと思う」は47%で円満だと思う人は合計で86%となりました。

夫の料理・手伝いの貢献度別に見ると、夫が料理や支度・片付けを行う妻は、「円満（円満+どちらかといえば円満）計」が91%と、ほとんど料理や支度・片付けをしない夫の妻が「円満（82%）」と回答しているのに対し9ポイント高くなっています。また、料理上手な夫がいる妻ほど夫婦円満である割合が高く、「夫は料理が得意」と回答した妻は「夫婦円満だと思う」と回答した割合が94%という結果になりました。【図14】



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 89 万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
 本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 URL ■www.macromill.com
 設立 ■2000年1月31日
 資本金 ■9億3,035万円 ※2009年12月末現在
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
 従業員数 ■297名 ※2010年3月末現在
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報担当：大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

〈例〉「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

